



令和3年度 10月号 令和3年9月30日

上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 河口 尚志

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharae>

上原スポーツフェスティバル、大成功！

～保護者の皆様の温かい眼差しに見守られて～

副校長 田代 仁史

9月25日(土)に「上原スポーツフェスティバル」を行いました。スローガンは「コロナに打ち勝て！力を合わせて金メダル」です。コロナ禍により様々な行事が中止となる中、時間を縮め、密を避け、子供たちも教職員も力を合わせて開催しました。演目は団体演技種目(6年生のみ短距離走+団体演技種目)に絞りました。感染防止のために夏休みを延長し、休み明け第1週の4, 5, 6年生を分散登校にしたため、全校児童の一斉登校開始は9月13日(月)。その後も祝日が2日あったため、全員そろって授業ができる日は正味8日間しかありませんでした。

しかし、上原小の子供たちの力は半端ではありません。限られた練習時間に一人一人が集中して学びを深め、どの学年も見事に仕上げました。1, 2年生の楽しく伸び伸びとしたダンス、3, 4年生の切れの良い身のこなしと太鼓のリズムの一体感、5年生のパワフルで息の合った舞、そして6年生の凛として美しいフラッグ演技。どの子も自分をよりよくしようと練習に努め、キラリと輝く姿を見せてくれました。上原スポーツフェスティバル、大成功！



1・2年生 「100周年 みんなで
いわえは、ええじゃないか！」



3・4年生
「未来へ つなげ エイサーの舞」



5年生 「一致団結 南中爽 嵐」
ソーラン



6年生
「100年の足跡～そして 未来へ～」

さて、輝いたのは子供たちですが、その姿を見守り、正しい方向へ導いていただいているのは、何といたっても保護者の皆様です。スポーツフェスティバル当日、観覧場所に集まった皆様が一心不乱に我が子を見つめる姿や、携帯電話などを構えて撮影する姿が見られました。「コロナ禍で大きい声は出せないけれど、きっと心の中で声を振り絞り応援しているのだろう」「撮影した動画や写真を家族で見る喜びのために、できるだけうまく撮ろうと集中しているのだろう」…そう考えた時、皆様の姿に家族愛があふれ、子供のために尽くす親心がにじみ出ていることをひしひしと感じました。保護者の皆様の温かい眼差しに見守られて育つ子供たち。上原小はこれからもその子供たちを大切に教育していきます。



終了後の後片付けの時、まだ校庭にいらした保護者の方に呼びかけたところ、何人かの方が即座に片づけを手伝って下さいました。重量のあるテントの部品やサッカーゴールなどの運搬に力を貸していただき、片付けもスムーズに短時間で完了させることができました。温かいご支援、ありがとうございました！